

べつ 議会だより つかい

第117号

2026年5月



上西春別小学校4年生 ガイドブックづくりに挑戦

特集 過去最高 積極予算!.....	2
こんな質問をしました!!.....	4
地域商社 × 地域通貨オトモノでまちの経済活性!.....	6
9年間をつなぐ学びへ.....	7
一般質問(田村・中村・伊勢・市川の4議員).....	8
議員定数・報酬額調査が終了.....	10
議会活動アラカルト <1期生議員に聞きました 他>.....	11
連載 「Let's go! 議会!」 <第5回>.....	14
シリーズおじゃましま〜す わたしたちの街、知ってほしい.....	16



予算決算審査特別委員会

委員長 横田 保江 副委員長 伊勢 徹

402億を可決

2日間にわたり138件を超える集中質疑で審査!

令和8年度当初予算は、予算決算審査特別委員会に付託され、一般会計・特別会計・企業会計の全てを全会一致で可決しました。

前年度より37億975万円増額となります。

町民の豊かな暮らしのため、議会が責任をもってチェックしていきます。

まち・暮らし

622万円

町開基150年記念事業

開基150年記念の町史および記念誌を作成します。

1億1660万円

人生100年デジタル伴走支援事業

OTOMONOの普及促進、マイナンバー連携支援、各種ポイント事業を通じて高齢者のデジタル活用を伴走支援し、健康づくりや社会参加を拡大します。

3億円

域内循環拠点維持・確保緊急対策事業

滞在施設および加工施設整備補助ならびに企業誘致活動を実施します。

500万円

生ごみ減量化容器購入補助事業

家庭用生ごみ減量化容器の購入に対し、購入価格の2分の1以内で上限5万円の補助金を交付します。



令和8年度 当初予算

過去最高積極予算!

産業

1億7000万円

水産物加工品流通強化事業

町内水産加工業者に対し、水産加工機器導入を支援します。

2億3878万円

ふるさと交流館整備事業

温浴・宿泊・レストラン・物販機能を備えた複合施設として整備する設計費などです。

1億4175万円

住民公開GIS(除雪システム等)環境構築及び地形図整備事業

除雪システムにより業務効率化と除雪状況の見える化を実現し、住民サービスの向上を図ります。また、住民公開型GISが構築され、高精度な地形図を整備します。

教育

4億7130万円

町営野球場整備事業

安全で快適な環境を確保し、地域スポーツ振興と交流人口拡大による地域活性化を図ります。

電光スコアボード設置工事 他

福祉

927万円

別海町地域公共交通計画策定事業

地域公共交通ネットワークの構築に向けて、町民ニーズや地域特性を踏まえた計画書を作ります。

4億円

地域医療体制維持確保特別対策事業

町立別海病院運営費を負担します。
(看護師および医療技術職員の給与費一部負担)

1億3898万円

し尿処理場維持補修事業

町民の生活に不可欠な汚水処理の安定稼働のため、必要な機器の補修・更新をします。



※金額の千円以下は切り捨てています。

こんな質問をしました!!

3月12日から2日間の日程で、各委員による集中質疑が行われ、令和8年度当初予算、一般会計、4つの特別会計、3つの企業会計、合わせて8会計402億7735万円の予算内容について審査しました。



歳出

町開基150周年記念事業

622万円

質疑
どのような町民が委員になることを想定しているのか。

答弁
別海町史等編さん委員会を設置して、現在8人が委員となっている。
町内の西部、東部、中央のさまざまな地域から、町の歴史や文化に詳しい方を選任している。

歳入

教育施設使用料

403万円

質疑
生涯学習センター、青少年プラザ、それぞれの使用見込み件数、免除、減見込み件数と、見込み額は。

答弁
生涯学習センター使用料170万円、使用見込み件数3300件、減見込み件数2640件、減免総額970万円。
青少年プラザ使用料25万円、使用見込み件数200件、減見込み件数100件、減免総額30万円を想定している。
一般財源への依存度が高いことは認識しているが、公共性の高さから地域住民の生涯学習活動を支える重要な施設であり、一定の一般財源投入は必要かつ適切だと考えている。

歳出

人生100年デジタル伴走支援事業

1億1660万円

質疑
高齢者ウエルビーイングを促進するポイント付与の具体策は何か。

答弁
ウォーキングが厳しい高齢の方にも、外出や社会参加の機会を通して、ポイントを付与することでウエルビーイングにつなげていきたい。
また、温泉やハイヤーなどでも「OTOMON O」を使うように加盟店登録を進め、令和9年度以降の福祉サービスの給付に係るデジタル化に備えたいと考えている。

歳出

地域活性化拠点再生構想作成事業

2061万円

質疑
拠点再生構想に令和7年度5拠点、令和8年度4拠点の予算を計上しているが、拠点となる地域はこの他にもあるのか。

答弁
現時点で新たな対象はないが、地域ごとに生じる課題や産業構造の変化に対して、新たな拠点構想策定に向けた検討も必要になると考えている。

歳出

生ごみ減量化容器購入補助事業

500万円

質疑

補助対象の機材と補助額は。

答弁

特に指定の機種はないが、*デイスポーターは除く。補助額は2分の1以内で、上限5万円の設定とする。

*排水口に設置する生ごみ処理装置

歳出

奥行地区文化財保存事業

453万円

質疑

どのような機械を購入予定か。

答弁

機械が入れない場所は職員だけではなく、ボランティアの協力も得て行っている。人手不足解消と定期的な景観維持のため、ロボット草刈り機1台と乗用草刈り機1台を購入予定。

歳出

学校給食無償化事業

1億3567万円

質疑

栄養バランスに優れた献立の提供や食育を確実に維持するために、必要に応じて柔軟に素早く補正予算を組み、給食の質を担保する考えはあるのか。

答弁

学校給食は単なる昼食の提供ではなく、成長期の子どもに必要な栄養摂取や、食に関する正しい知識と、望ましい食習慣の形成、地域の文化や産業への理解促進などの重要な教育的役割を担っている。

今後、想定を超えた食材価格の高騰で、栄養バランスのすぐれた献立の提供が困難となる場合には、必要に応じて補正予算を編成しなければならないと考えている。

歳出

町営野球場整備事業

4億7130万円

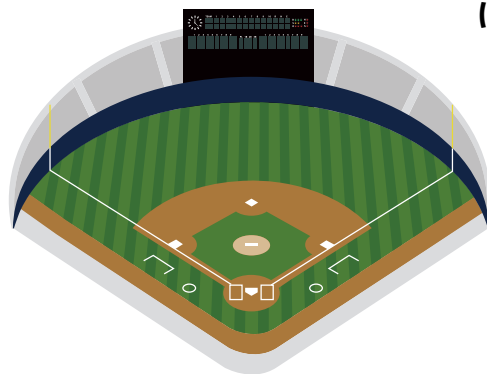
質疑

野球場整備事業の全体計画と年次計画を立てているのか。また電光スコアボードの事業費はいくらなのか。

答弁

町営野球場の老朽化対策と機能向上を目的とした整備事業を、複数年にわたる計画事業として位置付けし、社会情勢の変化や設備の状況を勘案しながら、計画の見直しや追加などを行い、整備を進めています。

電光スコアボードの工事費は最大の概算要求で、4億3400万円。



歳出

農業後継者支援事業

1100万円

質疑

新規事業内容、具体的支援内容は。

答弁

農業後継者を、引き続き町単独で拡大支援することとした。対象経費は、農用地・施設用地の取得費、農業機械施設の整備購入費、家畜・営農資材の購入費、取り組みに必要な設備処分費、補助率2分の1で上限100万円。



*金額の千円以下は切り捨てています。

総務産業常任委員会の活動報告

委員長 今西 和雄 副委員長 宮越 正人 委員 戸田 憲悦・佐藤 初雄・松原 政勝・小椋 哲也・高橋眞結美・市川 聖母

地域商社×オトモノで まちの経済活性化！

地域通貨

中間支援体制の整備を目指し 民間主導で事業推進

令和7年度の地域商社構築支援事業について、総合政策部から概要と進捗の説明がありました。

地域経済の中間支援を担う体制整備を目指し、2つの地域商社「株式会社OTOMONO」と「一般社団法人別海ブランドストーリー」を中心に、民間からの全額出資を進めることとなりました。

「(株)OTOMONO」はふるさと納税返礼品開発支援やデジタル地域通貨オトモノの運用支援などを、「(一社)別海ブランドストーリー」は地域おこし協力隊の育成・定着支援やイベント運営を担います。

今後は、両社の役割分担を明確にし、適切なリスク管理を進めていく方針です。



地域商社が運営に携わったイベント「BETSUKAI snow&glow2026」

ふるさと交流館 新たな温泉の恵み

湯量・泉質ともに良好 将来の施設に備え準備

ふるさと交流館再整備に伴う新源泉井掘削工事が完了しました。地下1100メートルまで掘削し、湯温38・1度、湧出量毎分480リットル（最大600リットル想定）であり、現行源泉の約2倍の湯量を確保しています。

泉質は「ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩温泉」で、モル泉の特徴も確認されました。成分は現行源泉と同等ですが、より温泉らしい香りが強いとのこと。

新源泉への切り替えは、施設再整備後の浴槽設計に併せて行う予定です。

ただし、現行源泉が枯渇するなどの緊急時に備え、いつでも新源泉に切り替えられるよう準備は整えています。



ギカイの目

地域商社構築支援事業

全体像の把握を

町からの委託・補助・人材投入の全体像を把握する必要があります。

事業立ち上げ途中であることから、以降、関連事業を含めた整理資料の提示を求め、継続調査をします。

行政からの支援状況を把握するとともに、地域商社の確立により、地域内経済の循環が継続的に広がることを注視していきます。

再整備事業を

令和8年度の重点調査事項へ

優良な源泉と十分な湯量が確保されたことを確認しました。

町内外から愛される、ふるさと交流館の再整備については、令和8年度に方針が決定される予定となっているため、重点調査事項として継続的に注視していきます。

福祉文教常任委員会の活動報告

委員長 外山 浩司 副委員長 横田 保江 委員 中村 忠士・田村 秀男・貞宗 拓雄・伊勢 徹・吉田 和行

9年間をつなぐ学びへ

別海型・義務教育学校への挑戦

本町では学校区ごとに小中一貫教育の準備が進み、令和8年度から順次開始予定です。別海中央小・中学校は義務教育学校として9年間の継続教育を目指しています。背景には校舎の老朽化や児童生徒数の減少、中1ギャップの解消があります。

教育委員会は関係者29人による協議会を設置し検討を進めています。

視察や調査では、地域開放や複合施設化、住民参加、町独自の教育内容の必要性などが意見として挙がっています。



現在の中央小学校の外観

地域で支える移動革命

尾岱沼モデルが動き出す

尾岱沼地区では、高齢者の通院・買い物や子どもの移動を支援するため、「一般社団法人尾岱沼 Seeds」を設立し、交通空白地対策としてライドシェアの取り組みを開始しました。

2月には関係機関による地域公共交通会議が開かれ、提案は全会一致で承認されました。

運行は尾岱沼・春別・床丹・平成地区で、平日8時～17時の予約制、料金はタクシーの8割以内。講習を受けた20人が運転し、バス・ハイヤー共通利用券も使用可能です。

今後の運営には、町が可能な範囲で支援する方針です。



4月1日スタートしたライドシェアの様子

ギカイの目

校舎一体型への課題

校舎新築では施設面に注目が集まりがちですが、義務教育学校では小学校45分・中学校50分という授業時間の違いによるチャイム調整が課題となります。

また、十分な昼休みの確保や、小学校高学年がリーダー性を発揮できる環境づくりなど、ソフト面の整備も重要であり、引き続き、調査・検討を進める必要があります。

住民主体の交通確保

本町でも高齢化や免許返納により、移動手段の確保が課題となっています。

尾岱沼地区では、住民が主体となり、行政の協力を得て移動支援に取り組んでいます。

同様の課題は、他の地域にも広がっており、先行事例として尾岱沼の取り組みを注視し、今後に生かす必要があります。



議員4人による一般質問

質問 別海町観光大使の現在と未来の姿



たむらひでお 田村秀男議員

ンサーの公式YouTubeチャンネルで、関西圏における本町の認知度向上に寄与している。

今後の戦略は、「大使の皆様が持つ豊富な経験」「全道・全国レベルでの知名度」などを最大限に生かしていく。

質問 委嘱されている4人の大使の活動と未来戦略は。

答弁 田村美香さんは、「えびまつり」「パイロットマラソン」の司会を継続して務めている。

また、ご自身のラジオ番組やブログを通じて、本町の知名度向上が図られている。
小六禮次郎さん・倍賞千恵子さんご夫妻は、「東京・別海ふるさと会」に参加して、首都圏在住の本町関係者との交流を深めている。

前田春香さんは、枚方市で開催される物産展での積極的なPR活動に加え、ご自身のSNSや毎日放送アナウ

ンサーの公式YouTubeチャンネルで、関西圏における本町の認知度向上に寄与している。

今後の戦略は、「大使の皆様が持つ豊富な経験」「全道・全国レベルでの知名度」などを最大限に生かしていく。

そのうえで、無理なく、継続的に本町の魅力発信にご協力いただき、各大使の特性を生かした効果的なPR活動に取り組む。

質問 大使の活動について、町民や地元の観光事業者から意見を聴取する仕組みは。

答弁 地元観光事業者が多数加盟する別海町観光協会や別海町商工会とは、観光振興の重要なパートナーとして、情報共有と意見交換を行う中で、大使に関する意見や要望を聴取する機会を設けている。

前田春香さんは、枚方市で開催される物産展での積極的なPR活動に加え、ご自身のSNSや毎日放送アナウ

質問 軽度・中等度難聴者へのケアと助成をどう考える？



なかむらただし 中村忠士議員

るため、現在リーフレットを作成中。

質問 高齢者に対する補聴器購入などの助成事業は。

答弁 令和9年度から実施する方向で進めている。

質問 別海町は国の制度より一歩進めて、軽度・中等度難聴の子どもに対し、補助を行っている。

対象者、申請の数は。

答弁 令和3、4年度はともに対象者1人、申請0件。5年度は対象者2人、申請1件。6年度は対象者4人、申請0件。7年度は対象者4人、申請2件。

質問 補助制度についての町民周知は進んでいるか。

答弁 関係各部署への周知依頼を行い、町ホームページや広報への掲載を行っている。保育園や学校関係には、より効果的な情報提供を図

米海兵隊移転訓練の拡大について

質問 矢白別演習場での在沖縄米海兵隊移転訓練で新たな訓練(迫撃砲、ロケットランチャーなど)が実施されようとしているが、移転訓練受け入れ時の町民説明になかった。

訓練内容が次々に追加され、際限なく拡大していくのではと危惧するが、どうか。

答弁 今後、このような使用火器の見直しが行われるのではと、懸念を持たざるを得ない。しかし、日米合意で「同質・同量」に反するものではないとの考えが示されている。



詳細はこちらからご覧になれます

議員4人による一般質問

質問 別海町の海外友好都市・姉妹都市の再検討と町民の海外派遣について



伊勢 徹 議員

質問 友好都市バツサーブルグ市との盟約締結から現在までに、どのような交流が行われてきたのか伺う。

答弁 昭和54年5月10日に盟約を取り交わし、昭和61年までの間に、55人が同市を訪問し、視察研修を行った。

質問 バツサーブルグ市と同様、酪農が盛んなカナダやニュージーランドなどの都市と、今後、友好都市提携を新たにを行う考えはあるか。

答弁 現在のところ、新たに友好都市提携を行う予定はない。

質問 バツサーブルグ市や、今後、新たに友好都市提

質問 現場の声を計画へ反映 農業の多様化を問う



市川 聖母 議員

携を行った場合、その都市との連携を生かした海外酪農地研修を行うことで、本町と友好都市との関係を実体験として学ぶ機会の提供、海外酪農技術の習得、グローバルな視野を持つ酪農後継者の育成との効果が期待できると考えるが、この点についての見解を伺う。

答弁 海外酪農先進地研修については、本町酪農の発展と人材育成に効果をもたらしているとの認識している。

質問 本町でも、海外研修派遣費補助事業のほか、海外の友好都市に、中高生や一般成人を対象とした派遣事業などを計画する考えはないか伺う。

答弁 現在、計画はしていないが、有用な事業の推進に努めていきたいと考えている。

る。

質問 次期農業・農村振興計画の策定に当たり、パブリックコメントだけでは拾いきれない現場の声をどう集約するのか。

離農が増える中、酪農を基軸としつつも、高齢になっても継続しやすく初期投資を抑えられる「畑作」や「兼業」といった、将来に向けた多様な営農形態に対する町の認識と検討状況は。

答弁 事前にJAの協力により全組合員へ実施したアンケート調査では、半数を超える意見をいただいた。

現場の生の声を十分に踏まえ、計画策定を進めている。

次期計画では「草地を小麦、そばなどの畑地へ転換するなど、耕作放棄地や遊休農地を発生させない取り組みを推進する」という新たな方針を盛り込み、持続的な農業生産を位置付ける。

質問 営農の多様化を検討する上で、JAをはじめとする関係機関と膝を突き合わせ、具体的かつ実践的に議論を深める場を設ける考えはあるか。

答弁 農協と役場との事務方レベルでの協議の場を新たに設置し、議論を深める。

町長としても、いつまでも酪農専業地帯では、生き残っていないかもしれないという認識は持っている。

農業経営者自らが目指す多様な農業生産の形に対し、町として適切に支援し、本町農業の持続的な発展を図る。

議員定数等調査特別委員会報告

委員長 松原 政勝 副委員長 田村 秀男 委員 中村 忠士・今西 和雄・小椋 哲也・高橋眞結美・吉田 和行・市川 聖母

2年越しの議員定数・報酬額調査が終了

令和6年4月16日に第1回の委員会を開催し、以後月1回のペースで調査を進め、当委員会の最終的な意見を取りまとめました。

この間、22回の委員会調査や2日間4地区での地域めぐり懇談会、397人からのアンケート調査を経て、次期改選期からの定数・報酬額の調査結果を3月定例会で最終報告しました。

議員定数

16人から15人へ

令和7年3月に、委員会構成を3から2常任委員会に変更して、委員会活動を行ってきた中で、7人を確保できれば十分な議論が尽くせることが確認できたことから、議会全体の統制者であり、公平性・中立性を持って議事進行を行う議長を委員会に加えないこととして検討しました。

その結果、現行の議員定数16人を1人減の15人に賛成多数で決定されました。

議員報酬額

議員個々の活動実績を1年間調査して、その中央値と議会活動の実績および将来活動期待値を含め、原価方式により算定された額を見直す額としました。

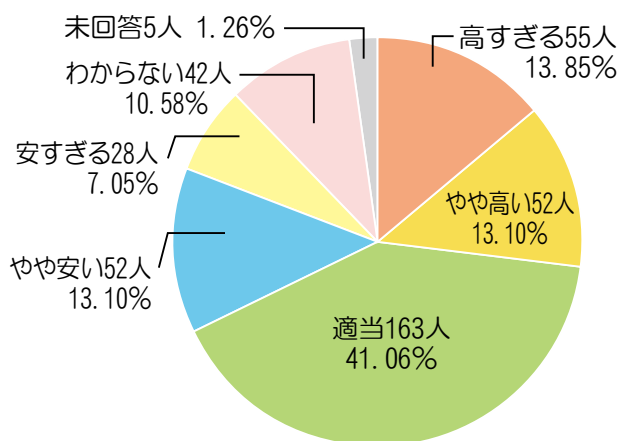
その結果、現行の議員報酬額22万2千円から25万3千円に算定されました。また、役職加算額は現行の加算割合を踏襲し、副委員長の報酬額を新たに設定することにしました。

いずれも全委員の賛成で決定されました。

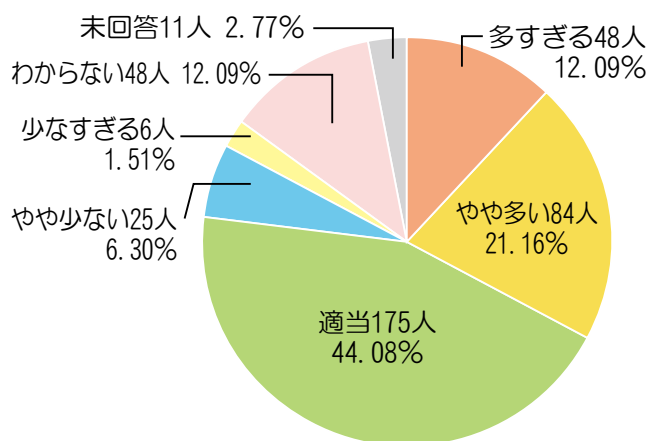
報酬額改定一覧

役職	改訂前	改定後
一般議員	222,000円	253,000円
副委員長	(新設定)	259,000円
委員長	234,000円	266,000円
副議長	246,000円	280,000円
議長	306,000円	348,000円

見直し後の一般議員の報酬額（月額253,000円）についてどう思いますか？



見直し後の議員定数（15人）についてどう思いますか？



※町民アンケートより（回答者397人）

議会活動アラカルト

議会活性化に向けて 特別委員会を設置

より一層の議会活性化を目指すことを目的に、議会活性化調査特別委員会を設置しました。

調査期間は一年間とします。

委員長	中村 忠士
副委員長	小椋 哲也
委員	今西 和雄
	外山 浩司
	貞宗 拓雄
	伊勢 徹
	高橋眞結美
	市川 聖母

令和8年度の 正副委員長が決定

予算決算審査特別委員会の正副委員長が次のとおり決定しました。

〈委員長〉宮越 正人
〈副委員長〉高橋 眞結美

1期生議員に聞きました

～初めての議会活動から3年
残り1年に向けた思い～

さだむね たくお
貞宗 拓雄 議員



議員1期目の3年間は学びの連続でした。地域には多くの課題がありますが、皆さんの声を大切に、一つ一つ着実に取り組み、残り1年の職責を全うしてまいります。

たかはしま ゆみ
高橋眞結美 議員



ケアマネから一転して議員となり4年目を迎えました。高齢者を支援していた時と同様、「町民こそ主人公」という思いで、多くの声を力に、先輩議員に教わりながらの議員活動でした。議場での質問は、いまだに緊張のチキンハートですが、任期残り1年、全力で頑張ります。

いせ とおる
伊勢 徹 議員



議員に就任して早くも3年が経ちました。分からないことがたくさんあり、3年過ぎた現在も日々の勉強が必要です。始めの2年間は、産業建設常任委員会に所属して、現在は福祉文教常任委員会に所属して活動しています。

いちかわ まりあ
市川 聖母 議員



生まれ育った町をより良くしたいと駆け抜け、早3年。議会、仕事、育児の両立に悩み涙する日もありますが、町民の皆様の温かい声が原動力です。一日一日の充実感謝し、誰もが幸せに暮らせる町づくりに、これからも等身大の視点で全力で取り組みます。

よしだ かずゆき
吉田 和行 議員



脳が焼けるような濃い3年間でした。16人に寄せられる多様な町民の声と視点、正解のない中、熟議を通して町民に納得してもらえる答えに落とし込む議会、でも使う言葉やルールが複雑で毎日が大変でした。責任は重いけどやりがいのある議員生活も残り1年、頑張ります。

私たちが見た・感じた 別海町議会 !!

議会モニターの皆さんに、各会議を傍聴してのご意見をお聞きました。

一般質問検討会議

(全議員が集まって、「どんな政策を実現したいか」を話し合い、外部の専門家(議会サポーター)からもアドバイスをもらいながら、より効果的な質問づくりを目指すための会議)



付箋に意見を書いて議員同士の内容の擦り合わせがあることで、より分かりやすい質問、意味のある質問になっていると思うので、とても良い方法だと思います。サポーターの助言はすごく整理されるし、毎回前向きな質問、中身のある質問につながるので、サポーターは必要だなと見ていて思います。(N氏)

一般質問



質問の意図や、背景の部分の説明が端的な議員の方が、より分かりやすいなと感じました。また、話し方の雰囲気なのか、ある議員の質問や返答などは熱意が伝わる表現で、見ていても聞きやすかったです。(N氏)

予算決算審査特別委員会

(予算・決算を全議員で審査する特別委員会)



細部にわたって、町政の費用活用方法の明確化に焦点を絞った的確な質問でした。質疑応答を通じて、議員の町政に対する姿勢が明確に分かりました。(Y氏)

令和7年度の一般質問者数と傍聴者数

議会名	開催月日	一般質問者数	傍聴者数
令和7年第2回定例会	令和7年6月12日	6	27
令和7年第3回定例会	令和7年9月9日	6	21
令和7年第4回定例会	令和7年12月9日	7	19
令和8年第1回定例会	令和8年3月11日	4	11
計		23人	78人

議会モニターを2人増員し、12人に

町民参加による開かれた議会を推進するため設置している別海町議会モニターを2人増員しました。

議会のモニタリングや意見交換会を通じて、率直な意見をいただき、さらなる議会改革に生かしていきます。



議会活動アラカルト

ミラノ・コルティナ オリンピック男子 500メートル観戦記

議長 西原 浩

ミラノ到着後、すぐにスケート会場に向かい、入場前から厳重なテロ対策と手荷物検査が行われ、入場までに2時間を要しました。

その緊張感を抜けて足を踏み入れたスケートリンクは、観客の歓声に包まれたにぎやかさと、どこか凜とした空気が共存していました。

その舞台で、別海町出身の新潟選手と森重選手が見せた堂々たる滑りは、多くの人の心を惹きつけました。

ひたむきな努力と最後まであきらめない姿勢に、深い感動と誇りを覚え、その健闘を心から讃えます。



元島民ら、世代を超え 返還運動決意!

今こそ心をひとつに北方領土返還への熱い想いを大きな声で全国へ届けましょう

2月7日正午から根室市総合文化会館において、2026「北方領土の日」根室管内住民大会が開催されました。

北方領土の日は、日本とロシアとの国境を択捉島とウルップ島の間に定めた日露通好条約が1855(安政元)年2月7日に締結されたことに由来します。

元島民や自治体関係者ら約700人が参加し、北方領土問題の早期解決を訴えました。

町議会から、正副議長の他7人が参加しました。
(文責・田村委員)



研修会に参加しました

2月8日 釧路工業技術センター

我が国の貴重な資源である木材の恒久的な供給と、産業としてのさらなる推進を図るため、「釧路・根室地方森林・林業・林産業活性化を促進するための連絡会議」の研修会が行われました。

講師の砂田和之氏(株式会社釧路ウッドプロダクツ会長)が、北海道に生育する針葉樹を原料として製材を行い、輸入材に代わり、国産材で安定的な供給を目指す取り組みを紹介しました。

これらの取り組みにより、林業従事者への経済的還元を目指し、北海道・釧路市にて安定的雇用を創設し、微力でも経済的な貢献ができる事業にしたいと述べられました。

我々、別海町議会も、本町の経済活動の活性化と、自然環境の保持などを目的に、今後も活動に注力したいと考えています。

(文責・宮越委員)



Let's go! 議会!

前回の Let' go! 議会! では、「総務産業常任委員会」の詳細をご紹介しました。今回は、より町民生活に関わりの多い「福祉文教常任委員会」について詳しくお伝えします。わたしたちの生活がより心地よいものになるよう慎重に調査を行っています。

Q 福祉文教常任委員会ではどんなことを調査しているの?

A 福祉・医療・教育・生活環境などを担当しています。特に町立病院、子育て支援、学校教育、ごみ処理、地域交通など、町民の生活に密接なテーマを継続的に調査・審議しています。

福祉文教常任委員会ではこんなことを調べています

担当は
どんな部署?

福祉部

障がい者支援、子育て支援、高齢者支援。町民の暮らしを支える相談・給付業務など

保健生活部

町民の暮らしと健康を守るため、手続き・環境整備・保健支援・国民健康保険など

教育委員会

学校教育・生涯学習・文化やスポーツを通じて地域の学びを支える事務など

町立別海病院

地域医療の提供や診療体制の整備、町民の健康を支えるための事務など

具体的には?

子どもや障がいのある方、高齢者など、暮らしに不安を抱える人々を支える窓口です。子育てや生活の相談、介護や在宅支援まで、日々の安心をそっと支える役割を担っています。

戸籍や保険の手続き、環境衛生やごみの分別、人権や消費生活の相談、健康づくりや予防接種、母子保健など、暮らしと健康を支える幅広いサービス、国民健康保険の事務も担当しています。

学校教育や生涯学習、文化・スポーツ、図書館、公民館行事などを通じて、子どもから大人まで地域に愛着を持って学び育つ環境をつくる役割を担当しています。

医療・看護・検査・リハビリなど多くの部門と尾岱沼診療所・西春別駅前診療所が連携し、町民の健康を支える医療機関の運営・事務を担当しています。

これが
ホンネ!

2期生4年目 **横田保江** 議員に聞いてみました!!

Q 議会のやりがいとは?

A

慣れない議員活動の荒波にもまれ、心身ともに多忙な日々ですが、一つずつ課題を突破する面白さと、一般質問などで実績を積むプロセスこそが、確かな足跡と大きなやりがいにつながっていると思います。



「議員って、なにしてるの？」


密着!!
第2弾

2月

意外と多い？ B 議員のリアルスケジュール

「議員って、普段は何をしているの？」そんな疑問にお答えするシリーズ企画。前回は、子育て世代議員のリアルな日常をお届けしました。今回は、豊富な経験を生かして活躍する70代議員にスポットを当てています。議会での議論はもちろん、地域に根ざした活動や住民相談など、その動きは驚くほどの幅があります。16人の議員それぞれが、16通りのスタイルで活動しています。今回は、長年培った知見を別海町の未来へとつなげる、生き生きとした活動の様子をご紹介します。

根室での住民大会に
はりきって参加

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3 	4 家族旅行の準備	5	6 別海町ご当地ソングを 歌って健康寿命アップ	7 北方領土の日 2026「北方領土の日」 根室管内住民大会参加
8 一般質問のための 下準備をコツコツ	9 確定申告書作成準備	10 団体会議資料作成	11	12 パスポート申請	13 議員定数等調査 特別委員会 報告書作成	14 カラオケサークル参加 (別海町のご当地ソング発信)
15 一般質問検討会議準備 BETSUKAI SAKURA MEETUP 交流会	16 一般質問検討会議 確定申告完了	17 福祉牛乳受け取り 一般質問 再質問検討	18 一般質問 再質問検討	19 議会運営委員会 常任委員会 下調べ	20 全員協議会 議員問討議 常任委員会 広報編集会議(役員会議)	21 議会だより原稿作成 カラオケサークル参加
22 令和8年度当初予算下調べ 斜里までドライブ	23 団体会議資料作成	24 福祉牛乳受け取り 情報収集会議	25 団体会議資料作成	26 札幌で行われる 団体会議に出席	27 札幌で行われる 団体会議に出席	28 当初予算質問作成

いよいよ3月定例会で
本格的に準備

別海のおいしい牛乳で
健康寿命アップ

札幌での会議に出席

3月



定例会の下調べは
コツコツしっかり

カラオケサークルでの
町民との関わりを
大事にしています

1 別海高等学校卒業式 来賓として参加	2 当初予算質問下調べ	3 議会活動・議員活動報告書配布 福祉牛乳受け取り 議会事務局との打ち合わせ	4 全員協議会 議員問討議 常任委員会打ち合わせ	5 定例会議案書下調べ 補正予算下調べ	6 福祉牛乳受け取り 議会・議員活動報告書配布	7 当初予算質疑構築精査 カラオケサークル参加
8 卒業式に来賓として出席。 卒業生の晴れの日を 一緒に祝って感激	9 定例会	10 定例会	11 定例会 (一般質問)	12 定例会 休会 (予算決算審査特別委員会)	13 定例会 休会 (予算決算審査特別委員会) (常任委員会)	14 定例会 休会 カラオケサークル参加
15 定例会 休会 常任委員会下調べ	16 定例会 休会 (常任委員会)	17 定例会 町職員との親睦会	18 	19 議会だより原稿作成 6月一般質問原稿作成	20 議会だより原稿作成 福祉牛乳受け取り	21
22	23 議会だより原稿作成	24 福祉牛乳受け取り 議会だより原稿作成	25 議員定数等調査特別委員会解散式 寿大学修了式	26 病院通院	27 福祉牛乳受け取り 団体事務作業	28 カラオケサークル参加 議会だより原稿作成
29 議会だより原稿作成	30	31 家族旅行出発				

定例会が終わったら
議会だよりの原稿の準備

体のメンテナンスも
元気に議会活動をする
ために重要なこと

わたしたちの街、知ってほしい

— 4年生が作った西春別駅前ガイドブック —

ガイドブックの話をも
初に聞いたとき、子ども
たちは「こんなに大変な
ことをやるの？」と驚い



上西春別小学校の4年
生22人が、総合学習の時
間に「西春別駅前地区ガ
イドブック」を作りまし
た。
食べ物・イベント・観
光・暮らしの4つのグ
ループに分かれ、地域の
飲食店や宿泊施設、お祭
りなど21カ所を取材。12
月頃から制作を始め、約
3カ月をかけて完成させ
ました。

質問は事前に自分たち
で考え、グループで持ち
寄って準備。取材先では、

たそうです。制作の途中
では「先の見えないトン
ネルの中を歩いているよ
うだった」と話す子もい
ました。



取材を終えた感想を聞
くと、「思ったよりお店
がたくさんあった」とい
う声がある。ある食堂のチー
ズ棒があまりにおいしく
て、「給食でも出してほ
しい」という意見も飛び
出しました。

ガイドブックには、お
気に入りのメニューや自



どうしたら相手に分かり
やすく伝えられるかを意
識しながら、一つ一つ丁寧
にまとめていったとい
います。
国語の授業で学んだ
引用と出典のルールも、
しっかり実践してしまし
た。



完成したときの気持
ちは？——「成功だっ
た！」。
苦勞を乗り越えた先
に待っていたのは、自
分たちの街の魅力を発
見し、誰かに届ける喜
びでした。

誰に読んでほしい？
——「別海に来てくれ
る人たち」「取材に協
力してくれたお店の人
たち」。
分だけのおすすめポイ
ントなど、子どもなら
ではの発見がたくさん
詰まっています。

令和8年第2回定例会は
6月17日(水)～6月23日(火)
を予定しています



別海町議会
YouTubeチャンネル



一般質問の傍聴にきてみませんか？
一般質問日
6月18日(木) 予定
お待ちしております!!